

# INON

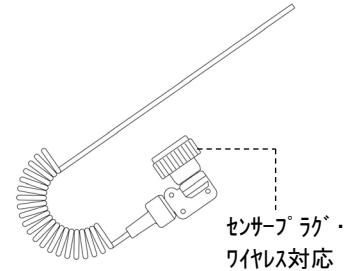
## イン L 型光 D ケーブル SS

イン製品のお買い上げ有難う御座います。

イン L 型光 D ケーブル SS は、対応するデジタルカメラの内蔵フラッシュ光を導く事で、外部ストロボ撮影を簡単に実現する、光ファイバーを用いた接続オプションです。

製品内訳 :  
・ L 型光 D ケーブル SS × 1  
・ 使用説明書(本書) × 1

対応ストロボ (2018 年 5 月現在) :  
・ 下記のイン “ストロボ” を、イン「シューベース M6」または「シューベース」+「Z ジョイント」を介して取り付けられたシステムにのみ対応



・ **L 型光 D ケーブルをそのまま、取付け可能な機種(ワイヤレス “対応、ストロボ”)**  
イン Z-330、S-2000、Z-240【Type4】、D-2000【Type4】

・ **L 型光 D ケーブルのセンサーラックを、「センサーラック・ワイヤレス非対応」(別売)へ交換する必要がある機種(ワイヤレス “非対応、ストロボ”) (※)**  
イン Z-240【Type3/Type2/Type1】、D-2000【Type3/Type2/Type1】、D-2000W、D-2000Wn、D-2000S、D-180、D-180S、Z-220F、Z-220、Z-220



【別売】

(※) 交換方法については、「センサーラック・ワイヤレス非対応」付属の「ストロボ側 L 型コネクタ仕様変更手順書」をご参照の上、センサーラックの交換を行ってからご使用下さい。

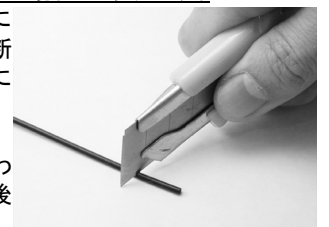
対応カメラシステム(\*1) (2018 年 5 月現在) :  
・ イン「L 型光 D ケーブル SS・キャップ W32 セット」に対応するカメラシステム  
・ イン「L 型光 D ケーブル SS・キャップ W35 セット」に対応するカメラシステム  
・ イン「L 型光 D ケーブル SS・キャップ W41 セット」に対応するカメラシステム  
・ イン「L 型光 D ケーブル SS・キャップ W42 セット」に対応するカメラシステム  
・ イン「L 型光 D ケーブル SS・キャップ W48 セット」に対応するカメラシステム  
・ イン「L 型光 D ケーブル SS・キャップ W51 セット」に対応するカメラシステム  
・ イン「L 型光 D ケーブル SS・ブッシュ W52 セット」に対応するカメラシステム  
・ イン「L 型光 D ケーブル SS・ブッシュ W55 セット」に対応するカメラシステム  
・ イン「L 型光 D ケーブル SS・ブッシュ W56 セット」に対応するカメラシステム  
・ イン「L 型光 D ケーブル SS・ブッシュ W59 セット」に対応するカメラシステム  
・ イン「L 型光 D ケーブル SS・ブッシュ W60 セット」に対応するカメラシステム

(\*1) 本「L 型光 D ケーブル SS」は、各 “L 型光 D ケーブル SS・キャップ セット/ブッシュセット” の “光ケーブル部分” の単体製品となります。  
本製品単独で、対応カメラシステムと対応ストロボとの接続を行なう事は出来ません。必ず、各カメラシステムに対応する “L 型光 D ケーブル SS・キャップ セット/ブッシュセット” が必要となりますのでご留意下さい。

接続方法 :  
・ L 型光 D ケーブル SS の “光ファイバー断端” を、カメラシステム側の「ホルダーユニット」(L 型光 D ケーブル SS・キャップ W32 セット/W35 セット)/「遮光板ユニット」(L 型光 D ケーブル SS・キャップ W41 セット/W42/W48/W51 セット)/「光ファイバー用・2 穴ゴムブッシュ」(L 型光 D ケーブル SS・ブッシュ W52・W55/W56/W59/W60 セット)へ固定します。各カメラシステムへの固定方法につきましては、各 “L 型光 D ケーブル SS・キャップ セット/ブッシュセット” 付属の使用説明書をご確認下さい。  
・ L 型光 D ケーブル SS の “黒プラスチック側端 [ストロボ側コネクタ]” を、ストロボ側の “スレーブセンサー” 部へ直接ねじ込み、外部ストロボ側に固定します。各ストロボへの固定方法につきましては、各ストロボ付属の使用説明書をご確認下さい。強く締め過ぎると、各コネクタ、或いは接続機器側の接続部が破損する可能性がありますので、ご注意下さい。

メンテナンスについて :  
・ ご使用後は、カメラシステム/ストロボ等から取り外し、真水中 (30℃以下) に数時間静置して塩分等をよく取り除いた後、エガン等で水滴を吹き飛ばし、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、乾燥させて下さい (完全乾燥には数日掛かります)。  
・ 特に 各コネクタ内側の “光ファイバー断端” は丁寧に洗い、塩分を良く落して下さい。 “光ファイバー断端” に傷が付いたり、塩分が残留して曇ってしまったら、信号がうまく伝わらなくなる場合があります。

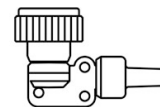
・ 上述の理由等で信号が伝わり難くなった場合や、ケーブルを短くして使用するには、必要に応じて光ファイバーを切る事が出来ます (L 型コネクタ側の光ファイバーを切断する場合は、弊社ホームページの『TOP > テクニカル > L 型光ケーブル分解組立』にて公開しております [L 型コネクタ仕様変更手順書] をご参照下さい)。  
・ 光 D ケーブル SS の切断には、カミソリやカッターナイフ等、鋭利な刃物を使って下さい。光 D ケーブル SS の中心にある光ファイバーの切断面に凹凸が出来ると、光信号が伝わり難くなります。切断前の状態よりも断面の凹凸が酷くなった場合や、切断後に信号が伝わり難くなった場合は、切断作業をやり直して下さい。



- 使用上の注意** :
- ・ L型光DケーブルSS”は超耐久仕様(最小曲げ半径2mm)となっておりますが、それ以上曲げたり、強い刺激が加わったりすると、内部で折れる可能性があります。また、長時間曲げたままにすると形状が記憶されてしまいます。上記光ファイバ-断端の劣化以外であっても、正常に信号が伝わらなくなりましたら、お買い上げの「交換用光ファイバ-L型光DケーブルSS用」と交換して下さい。
  - ・ L型光DケーブルSS をカメラシステムやストロボに接続した状態で、ケーブルを持ってそれらを持ち運ぶなどすると、光ファイバがL型コネクタから外れたり、ストロボ/L型コネクタ/光ファイバ-等が破損する恐れがあります。このような扱いは避けて下さい。

- お買い上げについて** :
- ・ 交換用光ファイバ-L型光DケーブルSS用 ¥3,000-(税抜)  
製品内訳画像中の、①からストロボ 取付用のコネクタを除いた物です。

- ・ ストロボ 側 L型コネクタキット(ワイヤレス対応) [保守部品] ¥2,500-(税抜)  
本製品から光ファイバ-を除いた、コネクタキットの交換キットです。



- ・ センサーフラグ・ワイヤレス対応 [保守部品] ¥600-(税抜)  
本製品に標準装備されている、ワイヤレス “対応”、ストロボ 用のセンサーフラグです。



- ・ センサーフラグ・ワイヤレス非対応 [保守部品] ¥600-(税抜)  
ワイヤレス “非対応”、ストロボ 用のセンサーフラグです。本製品を、ワイヤレス “非対応”、ストロボ (本書内「接続対応ストロボ」の項参照)に使用する場合に、本製品のセンサーフラグ・ワイヤレス対応と交換します。



有限会社 イン  
〒247-0061  
神奈川県鎌倉市台 2-18-9  
Tel. 0467-48-2174  
Fax. 0467-48-2178  
E-mail support@inon.co.jp  
URL  
<http://www.inon.co.jp/>

2018年5月